

## 2023年度第2回学校評価委員会（将来構想委員会）報告書

日 時：2023年11月24日（金）18：30～19：40

場 所：会議室

出席者：医師会…会長・副会長・事務長

学校……副学校長・両科教務主任・事務次長（進行）

外部……筑後市立病院長・公立八女総合病院看護部長・姫野病院看護部長

福島高等学校長・八女学院中学・高等学校進路指導部長

### 1.開会（18：30）

### 2.委員長挨拶（医師会長）

### 3.委員紹介（自己紹介）

### 4.議題

#### 1) 将来構想委員会の設置目的等について

- ・委員会設置趣旨・我が国の看護教育の動向について（副学校長）
- ・本校の学生動向について（両科教務主任）
- ・学生確保に向けた対策について（副学校長）

#### 2) 意見交換 ※敬称略

（進行） 今回初めてご参加いただいております校長先生、今年度は多くの受験生を送って頂きありがとうございます。今後の学生の動向などについてお話をお聞かせいただけますか。

（委員） 送り出しているものの、卒業後の実情が把握できていない。2名の学生が退学した事を聞き、今後の対策を考えていきたい。

現在の学生状況については、中学でしておくべき学校行事が実施できていないことや先輩から後輩が引き継ぐなど、経験をしていない生徒が多いので、これまでと同じ指導ではいけないと思う。

コロナ禍で経験が少なく職員が手をかけているが、生徒たち自身が取り組んでいる姿勢を見せてくれることが大切なのではと考える。

進路については、以前に比べると大学を目指す学生も増えているが、専門学校を志望し技術を身に付けたいと思っている学生も多い。

（委員） 看護学校の状況を聞き、本校の課題と似ていると感じた。

入試のレベルを下げると入ってくる生徒は多いが、入学後に生徒が苦勞することになる。入学してからの指導が厳しい。

進学先はほぼ大学で、医療系では理学療法士、作業療法士を目指す学生が

多い。また、看護系では男子学生は100%が大学、女子は経済的な理由から専門学校を志望する生徒もいる。

(委員) 准看護科の学生数の減少に驚いている。多くの高校生が大学進学を希望する時代にあるが、この専門学校の准看護師から看護師の資格取得のツールは残してほしい。

現代の子ども達の状況は臨床現場も同じ。現状を理解し受け入れていくしかないと思っている。

(委員) 実習になると体調を崩す学生が多いと聞き、実習があまりストレスにならないように受け入れる側が環境を整えることも大事だと考える。実習指導者講習会などの伝達講習をしながら、楽しく安心して実習できる環境を作ることが大事だと思う。

(委員) この少子化が続くと看護師、介護師不足が大きな問題となる。大学では卒業前後のサポートを行っている。

今の学生に「趣味は」と聞くと、テレビゲームという。コミュニケーション力・対人力の低下に繋がっている。社会問題にもなっており問題が複雑で、色々な要因が考えられる。

モチベーション（やる気）を持たせることが大事で、個人差があるので指導は大変だが、コーチングなどを取り入れ対策を行っている。

カウンセリングを受ける前の段階でコーチングを行うなど、年間を通して対策を取っている。 ※コーチング講習会「職場におけるコーチング」  
難しいと思うが、若い人の文化と状況を把握しないと対応・対策はとれないと思う。

(学校) すぐ辞めるという状況は、以前のように苦勞してでも資格を身につけるというよりも、自分の時間を楽しみたいという一般の人の価値観や生き方の変化も要因に絡んでいる。

(学校) 資格を取る為に入学してきている訳だから、いかに本人がモチベーションをあげるために何をしてあげたらよいか課題となっている。

本校はチューター制を取り入れ、学生に対し個別の指導を行っている。学生が少ないことで返ってしっかり関わる事が出来、強みにはなっている。

何事に関しても無関心で反応が無い学生に何をしてあげたらいいのか、とっかかりは何かあるか。

(委員) モチベーションそのものにスイッチが入っていない、タイミングがわからない。大人が言っても聞かない。先輩たちからのアドバイスがモチベーションに繋がる。

対策として、高校と大学の連携によりイベントの企画やツイッター・インスタなどでの発信を行っている。学生は情報を見て、興味があるものには参加しているようだ。

また、大学入試が終わった3月に、3年生から在校生へ学校生活や受験についての話(アドバイス)をしてもらっている。卒業生も自信をもって話す。身近な先輩の声が一番響くように感じる。

(学校) 入試の面接時に、高校で介護関係のボランティアに行っていると聞いていたが、ここ2~3年は聞かない。最近の現状はどうか。

(委員) 学生が積極的に行っていたが、コロナ禍で中止になっていた。

今年度は7月に災害ボランティアに参加している。

また高校の学生募集の対策として、中学生に向け、卒業生の話を聞いてもらう機会を設けている。

(学校) 理解ある卒業生に話をしてもらう。先輩から後輩へ語り継がれることが一番よい。本校もオープンキャンパスなどで卒業生からの話をしてもらっている。

希望を持ち入学してくるがすぐ諦めて退学する為、まずは休学というステップを踏むよう指導している。

退学した学生に「もう一回おいでよ」と声をかけることも大事だと思う。

(学校) 高校生が専門学校を選ぶ基準や学校が勧めるポイント(内容)を聞きたい。

(委員) 沢山の学校を見てくるよう伝えている。今は保護者同伴で大学等を見学に行く。そうなると保護者の思いが強くなり選択に影響されやすい。この点は要注意となる。

(学校) いかに楽しくいくかを一番に考えている学生が多い。

高校の先生方から、この看護学校に進学してすごく成長したと言われている。

(委員) いくつかの選択肢を提示する。自分の目で見てくるよう伝える。  
本校の生徒はあまり遠方へ行こうとしない。近郊で進学先を選ぶ傾向にある。経済的な面をしっかりと親子で話をしてほしいとお願いしている。

(学校) 学校も多くの対策を考えている。学校訪問や病院への依頼の際には、オープンキャンパスや募集要項などのポスター掲示や情報発信にご協力もお願いしたい。

・ 今後に向けて

(学校) 学校経営が難しくなる一方だが、学生のモチベーションを上げ、厳しい状況でも入学の間口を広げて、しっかりと教育し、時には時間をかけてでも質の高い看護師を輩出する必要がある。

(進行) 本日は貴重なご意見をありがとうございました。  
本日のご意見を参考に今後の状況をみながら学生募集、運営、学生指導に繋げていきたいと思う。今後ともご指導ご協力をお願い致します。

5. 閉会の挨拶

(学校) コロナの影響は大きいものだと思う。  
これからの状況を見ながら、本校の在り方を見直し、オープンキャンパス、学生募集に力を注いでいきたい。  
教職員も頑張っている。先生方のお力添えを宜しくお願いしたい。

## 2023 年度学校関係者評価委員会報告書

学校評価委員会（自己点検・自己評価）の第一回学校関係者評価を行いました。  
その結果を下記のとおり報告します。

### 1. 学校関係者評価委員会

- ・評価委員……久留米工業大学 教授 （学識経験者）  
九州大谷短期大学 教授 （学識経験者）  
筑後市立病院 看護部長 （企業等委員：専門分野関係者）  
姫野病院 看護師 （卒業生：同窓会役員）  
学生保護者 （PTA ：看護科学生保護者）
- ・学校……… 医師会長・学校長  
医師会副会長・学校担当理事  
副学校長  
准看護科 教務主任  
看護科 教務主任  
事務長  
事務次長（進行）

2. 日時 : 2023 年 7 月 28 日（金）19：00～20：15

場所 : 会議室

### 3. 議題

- 1) 八女筑後看護専門学校 自己点検・自己評価について（副学校長）  
これまでの取り組みの経緯について  
・准看護科、看護科の自己点検自己評価結果は、ホームページにて公表
- 2) 2022 年度学生状況について（副学校長）
- 3) 2022 年度准看護科評価結果について（准看護科 教務主任）  
・ホームページにて公表
- 4) 2023 年度准看護科重点課題について（准看護科 教務主任）  
・ホームページにて公表
- 5) 2022 年度看護科評価結果について（看護科 教務主任）  
・ホームページにて公表
- 6) 2023 年度看護科重点課題について（看護科 教務主任）  
・ホームページにて公表

7) 意見・質疑応答

質問・意見（評価委員）	回答・意見（学校側）
1) 資料P24P.26 退学・休学・等学生数の動向の「その他」は何を示しているか。	留年からの復学者の人数を示している。
2) 学校の指導が厳しいと聞きます。	指導方法の難しい部分だと考えている。 本校は職業教育のため、就職して困らない教育を行っていきたいと考えている。
3) 病院就職者の大半が大学卒業者で増加した。ただ、精神的に弱い学生が多いと感じる。専門学校教育の方が、しっかり教育されていると考える。 文科省と厚労省の教育カリキュラムの違いも感じる。	
4) 入学者として、新入生や社会人としては、どうなのか。	高卒の新卒者と社会人の割合は半々ぐらいである。年度によって違うが、本校はわりと高校新卒者が多い。
5) 大学も学生確保に苦慮している。工業系では女子学生の募集を強化しているという所もある。看護学校の学生は目的・目標を持っていると思うが、学生減少はどんなことが影響しているか。	看護教育が大学化になっている。 少子化の上に、近郊に大学も増えているためかなり影響を受けている。
6) 大卒と専門学校では就職先に違いがあるのか？大学病院は大卒者が多いが、地域によって様々である。 看護師の就職先も選べる時代となっている。以前のように自分のキャリアを高めるというよりも、自分のプライベートな条件にあった就職先を選んでいる。 自分が何を優先したいかで病院を選んでいる。	
7) 男子学生の割合はどれくらいか。	ここ2～3年増えているが、以前は、一割程度の時もあった。年度によって違う。高校訪問をしているが、景気回復による就職率の高さから今後減少していくのではと考える。

8) 以前は、働きながら通学していた。午前中に仕事をして、午後授業受ける。  
今の子どもたちは、大学受験を優先しているように感じる。男子も看護大学へ進学している。勤務先の状況を見ると、個人的には大学卒よりも専門学校を卒業した者がしっかりしている子が多いと感じている。

9) 看護師は文系ですか？理系ですか？

理系と思われがちだが、実は文系思考の人の方が看護師に向いているのではないかと思う。理系という今までの歴史があるので、どちらかといえば理系の人に来ていたと思うが、実は文系の方が、人との触れ合いを大事に考えられると思うし、そのことを文系の志望の子にも話をしていきたいと思っている。